

ACT NEWS

エー・シー・ティー ニュース

こんにちは！ACTニュース編集部です。6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生になっても自分自身を大切にしながら、トライ・アンド・エラーの気持ちで、新しいことにチャレンジしてください。それでは令和5年度に実施された湯河原町3小学校でのACTを振り返っていきましょう！

ACT NEWS 第15号 2024年3月発行 発行元：湯河原町教育委員会・特定非営利活動法人 まなびとくらし

小学校でのACT

小学校のACTは中学校と同様に、わたし（自分自身）と、あなた（他者）と、みんな（グループ・クラス＝社会）と向き合うといった、コミュニケーションをテーマとする「芸術体験」を実施しています。小学校での3回は生きていくことの根幹となる「感覚・感性・表現」をめぐる学びの下地をつくりたいと考えています。

6年生「うれしいってどんな色？」

東台福浦小学校	9月26日
湯河原小学校	9月28日
吉浜小学校	10月5日



6年生の1回目は秋に。ここではうれしい時の気持ちを抽象画で表現します。自分の気持ちを表現する作品ですから「こう描きましょう」という方法はありませんし、抽象表現なので「上手/下手」という見方や評価もありません。一方で「正解のない自由さ」は、時に不自由さを感じることがあります。確かに描き方やその手順が決まっていれば、描きやすいこともあるかも知れません。でも、それだけだと決まった枠（与えられた自由）の中だけの表現になってしまう可能性も。だからこの時間はあえて「はみ出そう！」です。

みんなの感想は「なんだか自分の気持ちを全部ぶちまけた感じがしてスッキリした」「少し難しかったけど、始めてみるととても楽しくて、止まらなくなってしまったのがポイントだと思った」「最初はよく分からなかったけど、実際に描いてみたら楽しくて、今日の自分にしか描けない絵を描いたのは初めてだった」「みんなのも最後に見たけど、きれいで、さわやかで、どんな風にうれしいのかが伝わってきた」「人それぞれうれしいっていう感情は違っていた」「日本人は決められたことに従って生きるのが好きけど、実際の心は自由に生きたいと思っているかも知れない」「はじめてこんな自由に爆発的な絵を描いた。すごく楽しかった」「2度と同じ絵は描けないから大事にしたいと思った」「自分のうれしい気持ちを大事にしていきたいと思った」「この作品は世界にひとつだけのものだ」「ストレスがなくなって、うれしい気持ちに～♪」「図工みたいなお手本がない絵がとても新鮮に感じた」などなど。

6年生「マシュマロ・チャレンジ」

吉浜小学校	2月20日
東台福浦小学校	2月28日
湯河原小学校	2月29日



6年生2回目はマシュマロ・チャレンジを実施しました。3～4人1組になり、パスタを材料に構造物をつくって、マシュマロをできるだけ高い位置に置き、その高さを競います。世界公式ルールに則って行いました。ちなみに世界記録は99センチだそうです。

まずはグループで10分間の作戦会議。どういう構造物だと建ちやすい？どうしたら強度は保てる？安定感を持たせるには？などを相談。その後、合図でスタート！制限時間は20分。楽しみながらトライ・アンド・

エラーの必要性を学びました。小学校の楽しい思い出の1つとして、友だちと協力して創意工夫と達成感、時に残念な気持ちを感じながら、たくさんの笑い声と共に過ごしました。

みんなの感想です。「すぐに倒れても何度もやっていくうちに楽しくなっていた」「班の人と協力できたことが良かった。失敗してもすぐにもう一度やるのが大切だと気がついた」「普段はあまり話さない子と話せて良かった！」「ぼくたちはいつも失敗から逃げているから、今度からは失敗から逃げないで、トライをいっぱいすることが大切だと分かった」などなど。

5年生「耳をすますとわかること」

湯河原小学校	3月 1日
東台福浦小学校	3月 5日
吉浜小学校	3月15日

5年生は3月上旬に「はじめまして」のご挨拶と共に小中連携の5年間、全12回のACTがスタートしました。導入部では1分の「沈黙をつくる、静寂を聞く」のワークを実施。「自分を世界の中心にあるマイクだと思って」と伝え、遠い音、小さい音に耳を傾けました。耳の感度も上がったところで、グループに分かれて校内の音探しの旅に出る「音の探検隊」。おもしろい音やふしぎな音を探す、小さな冒険です。多くの児童が学校の音風景や自分を取り巻く世界に対して傾聴する姿勢を見せ、真剣に耳を傾けてくれました。



同じ風景の中にも「何が聞こえてきたのか」は、人それぞれです。なので、みんなに聞こえている音もあれば、2～3人にしか聞こえなかった音もありますし、私にしか聞こえない音もあります。これは音以外も含む、感性全般の話で「すべての人が同じものを同じように感じているわけではない」という、一人ひとりの受け取り方の違いを実感する時間となりました。

みんなの感想には「音だけでも世界は広いということがわかった」「鳥の鳴き声や風の音が聞こえて、落ち着く音って身近にあると思った」「1分の無音の時間の時に自分には聞こえて、他人には聞こえてなかったことがあって不思議でいい経験ができた」「今日、ACTの授業がなぜあるのか？がわかった」「初めてこんなに真剣に音を聞いて、音の良さがわかった。普段はそんなに気にしない鳥の声がとてもきれいだった」などなど。

それでは次号にまたお会いしましょう！